

## Y17a ルワンダへの出前授業

高橋慶太郎（名古屋大学）

ルワンダは東アフリカにある小さな国で、15年前の内戦によって国土は荒廃したが、現在は大きく復興が進んでいる。また天然資源に恵まれないため、科学技術立国として発展すべく科学教育に力を注いでいる。以上のような歴史的経緯は戦後の日本と通じるものがあり、ルワンダ国民は日本に対してある程度の親近感・憧れを抱いているようである。

ルワンダにおける科学教育のカリキュラムは内容としては日本のそれとあまり変わらないが、情報・教材の圧倒的な不足、教師の質の問題などがあり、教育環境は概してよくない。講演者は2009年10月にルワンダを訪問し、いくつかの高校・大学で天文学に関する出前授業を行った。学生たちは「勉強とは暗記」と認識しているようであり、科学的・論理的な考え方を習得していないことが見て取れた。とはいえ彼らは初めて見るであろう天文学の映像資料に感銘を受け、好奇心旺盛でよく質問をした。彼らは劣悪な教育環境のせいで十分な科学的トレーニングを受けられないのが現状であるが、現役の科学者が映像資料や実験・観測などを通じて彼らに知的刺激を与えることは非常に有意義である。またこのような活動は科学者にしかできない国際貢献であり、科学者が先進国だけでなく途上国まで含めて知の循環・普及にどう取り組むのかを考える上でよい機会になる。本講演では講演者のこうした取り組みについて報告する。